

気になる!? わが子の学校生活



学校で
うまくやって
いるのかな

友達を作れて
いるのかな

楽しく
過ごせて
いるのかな

春の訪れを目前にし、新学期を心待ちにするわが子をほほ笑ましく見つめる一方、環境の変化にうまく順応できるかなど、不安に思う保護者のかたもいるのではないのでしょうか。今号では、学校生活の中で先生たちがどのような点に目を配り、子どもたちを見守っているのかを調査しました。

問い合わせ

児童生徒課 ☎7191-7210・FAX7191-1212
学校教育課 ☎7190-5779・FAX7191-1212

宿篠根小学校

保護者は何が心配?

柏市教育委員会が市内の小学校で行った保護者アンケートによると、保護者が教育において最も関心がある内容には、「友達との付き合い・関係づくり」が挙げられました。

ある大学が行った幼児・学校教育に関する保護者の意識調査でも同じような結果が出ていて、子どもの友達関係に対する保護者の心配は尽きないようです。春は出会いと別れの季節。人間関係が大きく変わる時期でもあり、保護者の皆さんにとって、子どもの学校生活はいつも以上に気掛かりなことが増えるのかもしれない。

上位ランキング

保護者の皆さんの
教育に関する
関心事



- 1 友達との付き合い・関係づくり
- 2 考える力や創造力、表現力の育成
- 3 コミュニケーション力の育成
- 4 教科における基礎学力の向上
- 5 ルール意識の育成

※2019年柏市教育委員会調べ

子どもたちを見守る先生の目

子どもたちは、授業や遊びなどの学校生活を通して、友達との付き合い方や関係性を学んでいきます。その中で、先生たちは子どもたち一人一人の友達との関わり方や小さな変化を気に留め、成長過程に応じた声掛けやサポートを行っています。実際の現場では、先生たちは具体的にどのようにして子どもたちを見守っているのでしょうか。



中原小学校

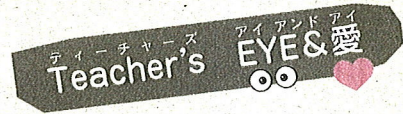
この「まなふる」(P1~4)は抜き取ってお読みください

小学校の

子どもの様子を キャッチ!

先生が目

ここでは小学校の1日の生活の中で、先生たちが子どもたちのどういったところを気に留めて見守っているのか、のぞいてみましょう!



発動!
Teacher's EYE&愛
ポイント①
心の中まで健康観察

「〇〇さん」「はい、元気です!」朝の会で聞かれるやりとりですね。
朝の会で行う健康観察では、出欠や健康状態の確認に加え、昨日けんかをしてきた友達同士の様子はどうか、周囲の冷やかしがいないかなど、子どもたちがどのような気持ちで席に着いているのかを気をつけて見えています。マスク着用により表情を確認しづらくなった分、より一層子どもたちの目や声の調子に気を配っています。

発動!
Teacher's EYE&愛
ポイント②
教室外でもパトロール

長めの休み時間に校内を見回しする先生たち。特にトイレは学校の中で最も閉鎖的な空間であるため、便器やトイレペーパーの使い方はどうか、いたずらはないかなど、何かトラブルが起きていないか注意して見えています。



発動!
Teacher's EYE&愛
ポイント③
互いを思いやれる雰囲気づくり

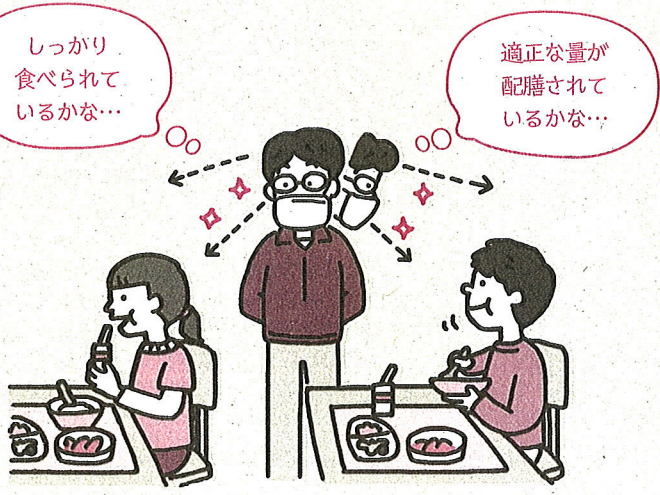
授業では、子どもたちが友達の意見や発言を大切にしているか、注意深く見えています。友達が勇気を出して手を挙げて発言しているときに、クラスで騒がしい雰囲気や、心無い発言が生まれないように常に気を配り、必要に応じて指導をしています。たとえ自分とは反対の意見であったとしても、友達の大切な1つの意見として受け入れしっかりと聞くことが、相手を思いやり、大切にすることにつながるのです。

Teacher's EYE&愛

ポイント④

一人一人に合わせた食育

給食は栄養バランスを確保し、「食」への関心を高めるため、さまざまな献立が考えられています。量が多いことや苦手な食べ物があることを理由に残してしまう子もいます。そのため先生たちは、一人一人の成長に合わせて盛り付け量を調節したり、「苦手な食べ物でも一口挑戦してみよう!」と声掛けをしたりしています。長い目で見て食べられるように、そして成長していけるように先生たちは願っているのです。



Teacher's EYE&愛

ポイント⑤

みんなで仲良く遊ぶ工夫

子どもたちにとって待ちに待った休み時間。子どもたちが、遊具や遊ぶ場所を譲り合って楽しく遊んでいるか、先生たちはできるだけたくさん子どもたちを見て回っています。コロナ禍で遊び方やルールは以前と異なる部分もありますが、例えば遊具の取り合いを見つけたときは、「時間で交代する」「日替わりで使う」「一緒に遊ぶ」といった約束事を、話し合いで決められるように声掛けします。

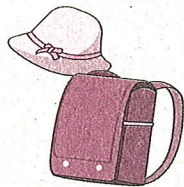
番外編

Teacher's EYE&愛

番外編①

安心して登下校できるように...

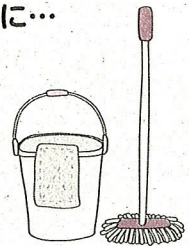
子どもたちが安心して登下校できるよう、先生たちは毎年話し合いを重ねた上で、通学路を決定しています。通学路決定後も実際に通学路を歩きながら、危険な場所がないかを確認し、少しでも気になる箇所があれば教育委員会などの関係機関へ報告し改善につなげています。



番外編②

雨の日に足を滑らせないように...

雨の日や湿度が高い日は、校舎内の湿気もひどく、廊下や階段が滑りやすくなるので、事故やけがを未然に防ぐために、子どもたちの登校前や休み時間に雑巾やモップがけをしています。先生たちの姿を見て、手伝いをしてくれる子どもたちもいるそうです。



専門家がお答えします!

わが家の悩み Q&A

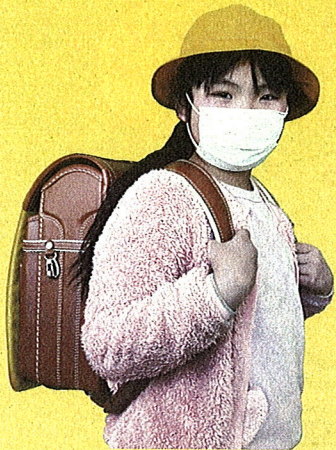
柏市スクールカウンセラー スーパーバイザー 高井干鶴先生監修

Q なんでも一番になりたがる子どもに対して、どう関わっていけばよいが悩んでいます。

A お友達と一緒にいる時も一番になりたがると、困ってしまいますね。ところで、なぜお子さんは一番が好きなのでしょう。まず、「1」は数を数える、順番をつける時、最初に口にする数字です。そして、私たちは生活の中で無意識のうち「一番=良いもの」と捉えています。そのため、お子さんは無意識に、一番になることはうれしい、誇らしい、そして一番にならないと落ち着かない、もっといえば、一番でなければだめだと思っているのかもしれませんが、

しかし、一番は良い悪いの基準を示すものばかりではありません。例えば、「春一番」「一番星」など、いろいろな一番があります。そこで、お子さんには、いろいろな一番があることや物事において必ず一番である必要はないことも伝えてみましょう。お子さんが、自分を含みみんながそれぞれのすてきな一番を持っていること、一番は決して周りとの競争で得るだけのものではなく、自分の中で大切にすものだと思うようになるとういことです。

新入生を迎える 小学校の準備に密着!



この春入学を控えるお子さんや保護者のかたは、まだまだ期待と不安でいっぱいかもしれません。そうした中、小学校の先生と子どもたちは新入生に会えることを待ち遠しく思いながら、さまざまな準備を行っています。ここでは、新入生が学校生活をスムーズに送れるようにするための取り組みについて紹介します。

問い合わせ 教育研究所 ☎7191-7387 ・FAX 7191-7380

必要な配慮を整えておくために

入学の数カ月前には、各小学校の先生が幼稚園・保育園・子ども園の先生から入学予定の子どもたち一人一人について聞き取りを行います。アレルギーの有無など学校生活を送る上で気に掛けるべきことがないか、事前に情報を得ることで、必要な配慮を十分に整えた状態で入学式を迎えられるようにしています。



▲小学校の先生が入学予定の子どもたちについて聞き取りを行います (酒井根小学校)

入学への期待を高めるために

入学前にはなかなか訪れる機会のない小学校。新しい環境での不安を少しでも減らせるよう、小学校ではさまざまな取り組みが行われています。例えばオンラインを活用して、1年生と園児たちとの交流を図ったり、1年生と先生が心を込めて学校紹介動画を制作し、各園へプレゼントしたりするなどの工夫がなされています。



▲1年生が得意のあやとりを園児たちに披露 (中原小学校)



▲1年生と先生が学校紹介動画を制作 (西原小学校)

学校生活に慣れていくための工夫

幼稚園・保育園・子ども園と小学校では、生活リズムは大きく変わるもの。この変化に対応するために、担任の先生は入学直後の一定期間、1回45分の授業を15分程度に区切った時間割を作ります。ここでは、教科学習だけでなく、友達作りのゲームや、白衣の着方や食器の使い方を知る「エア給食」などを取り入れながら、少しずつ時間を長くして授業に慣れる工夫をしています。

■ある日の時間割

		15日(木)
1 時 間 目	音	みんなで歌おう ・手遊び歌 ・リズム遊び
	国	学校探検 ・どんな教室があるか想像する ・校内の各場所(関係の深い所)をみんなで歩く
	生	エア給食 ・白衣の着方 ・食器の置き方や片付け方
2 時 間 目	学	
	学	

1回の授業を内容により、細かく分けて授業をします▶

こんなことも!

新入生の担任ならではの努力


初めて贈る言葉

担任の先生が入学当日に教室で話す「入学を祝う言葉」。実は、先生たちがこの言葉にかける思いは強く、直前まで悩むのだそう。初めての小学校で緊張している新入生が安心して学校生活を迎えられるよう、特に最初の言葉は大切にしています。

名前を呼ぶ練習

入学当日を迎えるにあたり、先生は事前に子どもたち一人一人の名前を確認し、間違えることなく名前を呼ぶための練習をしているのだから。そこには「新入生との出会いを大切にしたい」という先生の願いが込められています。

「まなふる」への感想をお寄せください!

「まなふる」へのご意見やご感想、取り上げてほしいテーマなどをお寄せください。 

ご意見・ご感想はこちら▶

広報かしわ、届いていますか?

新聞を購読していない世帯のかたには、広報紙を無料でお届けする宅配サービスがあります。また、スマートフォン向け無料アプリ「マチイロ」でも閲覧できます。



▲詳しくはこちら